



<ジブリ『もののけ姫』に隠されているメッセージ>

少し注意しただけで、少しいやなことがあったらすぐにキレてしまう子どもたち。我慢が足りない、わがままというレッテルを貼ってしまいがちになります。「怒り」という感情が悪いのではなく、それを上手にコントロールできないことでいろんな摩擦が起きていき周囲との関係が悪くなるのが問題なのですが、いくら理性で抑えても衝動エネルギーは湧いてきます。ジブリの『もののけ姫』のテーマも怒りです。怒りのままに進んでいくサンともののけたち。サンの怒りの奥にある心の傷に気づき否定も肯定もしないで包んであげる存在のアシタカ。この物語は怒りのままに身をまかせていくことの危険性も教えてくれます。どうやったら子どもたちの自己主張を大切にしながら、正しく怒りを発散させてあげられるのでしょうか？

衝動エネルギーを発散する方法としてスポーツ、勉強、芸術など社会的で文化的に認められる形に変えて表現することでそのエネルギーを発散させていく方法があります。こころを安定させるためのこころの機能の一つで「昇華（しょうか）」と言います。しかし、なかなか得意不得意がありピッタリ合う表現方法が見つからない子どもも多くいます。そんな時はサンとアシタカの関係は子育てにたくさん示唆を与えてくれます。

こころはたとえ意識されなくても記憶や経験、感覚、時間の流れといった複雑で多彩な内容が溢れた立体的な世界です。ある感情がひょっこりと生じるのではなく、その感情に係るたくさんの経験や出来事が関係しています。キレるこどもには多くの喪失に関連した悲しみが潜んでいます。自分でさえ気づいていない複雑な感情を否定も肯定もしないで（或いは補償と励まして）ともに歩んでくれる存在を得ることで、自分の複雑なこころの動きを知っていくようになります。注意されながらも子どもは安心感を感じることができ、怒りのコントロールの必要性を自覚していくようになります。

今後のスクールカウンセラー来校予定日（月曜日・終日） 6月21日， 7月12日， 8月30日

子育ての悩みや相談などがありましたら、各担任、教育相談担当（山本），
または養護教諭（小宮）まで連絡をください。



☆連絡先 佐志小学校（74-3445）

*1回の相談時間は、約1時間

*相談料は不要です。

学校外の相談機関にも、おつなげすることができます。直接申し込まれても構いません。

唐津市青少年支援センター【愛称：フレンズ】唐津市ニタ子1丁目3番7号

Tel 0955-74-1737 【8:30~17:15】←開所時間

0955-72-9467（子どもに関する総合相談）【9:00~16:00】